

## 事業計画書

1. 申請する法人について													
法人名		特定非営利活動法人 あいアイ											
法人の設立登記日		2023	年	2	月	21	日						
法人設立前の団体の設立日		1996	年	1	月	1	日	※NPO法人設立前に任意団体等で活動実績がある場合は記載する					
ホームページ・SNS	ホームページ	<a href="https://ai-ai-art.jp/">https://ai-ai-art.jp/</a>					Facebook		あいアイ美術館				
	X (旧Twitter)						YouTube						
	Instagram	https://www.instagram.com/p/DU-B8SEkuhN/ (あいアイ美術館)					その他						
活動歴・これまでの活動実績 <各活動90字以内>	活動①	1997年 障害者アーティストを支援する自主グループあいアイスタート											
	活動②	2007年5月 障害者アーティストの自立支援活動(埼玉県川越市で障害者アーティストの作品発表の場として「あいアイ美術館」を運営スタート)											
	活動③	2010年 中国上海万博に日本の障害者団体として出店し中国でも大反響となる											
	活動④	2014年6月 就労継続支援B型作業所の運営(東京都北区田端)スタート											
	活動⑤	2014年11月 内閣府特命大臣賞「子ども・若者育成支援部門」受賞											
助成金等の交付実績  ※ 2023年4月～2026年3月に交付された助成金等を記載  ※ 5件以上ある場合は、直近のものから5件を記載		助成金等名称			交付者			交付年月		交付額			
	助成金等①	令和7年度埼玉県NPO活動促進助成事業			埼玉県			2026	年	3	月	500,000	円
	助成金等②	2025年度公益財団法人JKA補助事業			公益財団法人JKA			2025	年	9	月	2,100,000	円
	助成金等③	東京都北区渋沢栄一プロジェクト推進事業助成			東京都北区			2025	年	3	月	500,000	円
	助成金等④	令和6年度埼玉県NPO活動促進助成事業			埼玉県			2025	年	3	月	300,000	円
	助成金等⑤	公益財団法人前川報恩会2024度福祉助成			公益財団法人前川報恩会			2025	年	1	月	450,000	円
申請する事業に従事する社員		氏名				役割							
	社員①	林千恵子				統括責任者・他団体との連携責任者							
	社員②	池内巴里				経理責任者(出金・支払い)							
	社員③	木下拓士				企画全般(連携団体との実務)、プレスリリース発信							
	社員④	飯村結				備品発注等事務全般、領収書管理、SNS発信							
	社員⑤												
	その他従事社員数	2				人				広報活動、事業実施支援			
	従事社員総数	6				人							

## 2. 申請する事業について

事業名	みんなで歩く河童アートトレイル(障害者アートでつなぐ広域・地域共生モデル事業)	事業区分	ステップアップ支援事業	事業分野	つながり・支え合い
事業対象	小学生、公共施設への来館者、福祉施設利用者	対象地域	川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、さいたま市	事業実施期間	2026/7/1 ~ 2026/11/30

### 解決したい地域課題及びその現状<300字程度>

- ①障害者アーティストは高い創作力を有しながらも、発表機会や収入機会が限られており、社会との接点が十分に確保されていない。
- ②一方で地域住民においても、障害者と日常的に関わる機会が少なく、相互理解が進みにくい状況がある。また、地域間の交流や回遊性の低さも課題であり、商店街や公共空間の活用が十分に進んでいない。
- ③本事業はこれらの課題に対し、障害者アートを媒介として地域に自然な交流機会を創出し、共生社会の実現と地域活性化を同時に図るものである。

### 上記の地域課題の解決に向けた事業の概要<300字程度>

- ・本事業は、川越市・坂戸市・鶴ヶ島市・さいたま市の4市を対象に、障害者アートを活用した広域回遊型「アートトレイル」を実施するものである。
- ・商店街や公共施設等約30拠点に作品を分散展示し、参加者がスタンプラリー形式で回遊する仕組みを構築する。
- ・また、ワークショップや学校・福祉施設との連携により交流機会を創出する。
- ・さらにスマートフォンを活用したAR技術を導入し、作品に動きやストーリー性を付加することで若年層の参加を促進する。
- ・地域資源である河童伝説と組み合わせ、誰もが参加しやすい共生型事業とする。

### 事業効果（※事業の効果はどのように県内広域に及ぶか、単一市町村内で行う事業の場合は、事業の効果が他の地域にどのように裨益するのか具体的に記載）<300字程度>

- ・本事業は複数市町村を横断して実施することで、地域間の回遊性を高め、広域的な交流促進と経済波及効果を生み出す。
- ・参加者が複数地域を訪れることで商店街の利用促進につながり、地域活性化に寄与する。
- ・また、障害者アートに触れる機会を日常空間に組み込むことで、障害者理解の向上を広域的に波及させることができる。さらに学校や福祉施設との連携により、多世代にわたる教育的効果も期待できる。
- ・本事業の仕組みは他地域にも展開可能であり、県内全体への波及効果を持つ。

### 事業の発展性（これまでの取組を踏まえ、事業の自立的な運営や効果的な実施に向けてどのような工夫・改善を行うか具体的に記載）<300字程度>

- ・これまで当法人は障害者アートの展示や普及活動を行ってきたが、単発的な実施に留まる課題があった。
- ・本事業では回遊型という仕組みを導入し、継続的な地域連携モデルへと発展させる。
- ・また、AR技術の導入により新たな層の参加を促進し、より効果的な実施を図る。
- ・さらに、事業終了後は作品レンタルや企業導入へ接続することで収益化を図り、持続可能な運営体制を構築する。
- ・毎年の定期開催を目指し、地域資源として定着させることで事業の発展性を高める。

### 事業の先駆性・モデル性（※事業の手法など他団体の取組のモデルとなり得るポイントを記載）<300字程度>

- ・本事業は「障害者アート」「広域回遊」「地域連携」「AR技術」を組み合わせた点に先駆性がある。
- ・従来の展示型事業とは異なり、地域全体を活用した回遊型とすることで、観光・健康促進・地域交流を同時に実現する点が特徴である。
- ・また、デジタル技術を活用することで若年層の参加を促進し、新たな社会参加の形を提示する。
- ・これらの手法は他団体でも応用可能であり、地域資源を活かした共生社会モデルとして県内外への展開が期待できる。

### 対象地域や事業規模の拡大（※ステップアップ支援事業のみ、これまでの事業から具体的にどのように拡大させるのか具体的に記載）<300字程度>

- ・本事業は初年度に4市で実施し、成果を検証した上で対象地域の拡大を図る。具体的には近隣自治体への展開や、参加拠点数の増加、企業・医療機関との連携強化により規模を拡大する。
- ・また、学校連携を拡充し、教育分野への波及を図る。さらにオンライン要素やARコンテンツの充実により、来訪が難しい層への参加機会も提供する。
- ・将来的には県内全域への展開を視野に入れ、広域的な共生モデルとして発展させる。

—

### 3. 申請事業の具体的な取組内容

取組 ①	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)									
	障害者アート作品の広域展示	拡充	10月 ~ 11月	川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、さいたま市	各市役所、図書館(予定)、参加商店									
	取組の目的<200字程度>													
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川や入間川などに伝わる河童伝説をからめた地域を一体とした街おこし</li> <li>・一般の方が知る機会がほとんどない障害者アーティストの特別な能力を見て感じてもらう</li> <li>・障害者のアート作品の地域への認知拡大を図る</li> </ul>													
	取組の内容<100字程度>													
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に伝わる河童にちなんだ伝説を基に、障害者がモチーフや絵画といったアート作品を製作する</li> <li>・アート作品を商店街・公共施設など30拠点に分散展示することで「地域の伝統」や「障がい者福祉」を感じてもらう機会とする</li> </ul>													
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額							
	来場者		月	1回 ×	1か月 =	1回	各回	1000名 ×	1回 =	1000名	1名あたり	0円 ×	1000名 =	0円
	従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)										
	5名	20名	2団体	かすみ商店街、角栄商店街										

取組 ②	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)									
	アートトレイル(障害者アートめぐり:スタンプラリー)	拡充	10月 ~ 11月	川越市	かすみ商店街、角栄商店街ほか									
	取組の目的<200字程度>													
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域回遊と交流促進</li> <li>・障害者アーティストの作品を実際に見て体感してもらう</li> </ul>													
	取組の内容<100字程度>													
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプラリーによる河童伝説ゆかりのエリアの回遊</li> <li>・商店街の参加店舗に来店者の特典を協力頂くことで地域一体となった事業とする</li> </ul>													
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額							
	来店者		月	1回 ×	1か月 =	1回	各回	1000名 ×	1回 =	1000名	1名あたり	0円 ×	1000名 =	0円
	従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)										
	5名	20名	団体											

取組 ③	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	子どもから高齢者まで楽しめるワークショップ	継続	10月 ~ 11月	川越市	伊勢原公民館、川越西公民館、最明寺
	取組の目的<200字程度>				
	・障害者アーティストとの直接交流による障害者福祉への理解促進				
	取組の内容<100字程度>				
	以下のワークショップを実施、子供から高齢者まで楽しめる事業を目指す ①河童の住む水辺の生き物と里山(学びと体験) ②障害者の描いた河童で缶バッジをつくろう(体験) ③河童のゴム印をつくろう(体験)				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
	小学生以下	月 3回 × 1か月 = 3回	各回 50名 × 3回 = 150名	1名あたり 500円 × 150名 = 75,000円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
3名	20名	2団体	特定非営利活動法人かわごえ里山ネットワーク(水辺の生き物の解説と木工細工指導)／株式会社RolifeJapan(いきもの木工材料提供)		

取組 ④	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	AR体験(サイバー空間と現実世界を融合させる技術)	新規	10月 ~ 11月	川越市、さいたま市	伊勢原公民館、川越市役所(予定)、埼玉県庁(予定)
	取組の目的<200字程度>				
	・多くの人(特に若年層の参加促進)に興味を持ってもらうためのフックとしてAR技術を活用する ・ARという新しい体験を提供することは埼玉県のかかげるDX推進に連動させる				
	取組の内容<100字程度>				
	・QRコードにスマホをかざすと作品が動く仕組み(AR)を導入し、本事業に興味を持ってもらう ・集客プログラムとして実施				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
	最新のデジタル技術やAIに興味のある人	月 7回 × 1か月 = 7回	各回 200名 × 7回 = 1400名	1名あたり 0円 × 1400名 = 円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
3名	10名	1団体	一般社団法人障害者アーティスト自立支援協会(AR製作)		

取組 ⑤	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	連携プログラム	継続	10月 ~ 11月	川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、さいたま市	伊勢原公民館、川越西公民館、最明寺
	取組の目的<200字程度>				
	・市役所や図書館などの公共施設に事業パネル(障害者アーティストの個性豊かな作品や活動内容)を設置することで教育・福祉分野へ波及させる				
	取組の内容<100字程度>				
	・公共性のあるパネルの製作と公共施設への展示の依頼 ・小学校、幼稚園へのワークショップの参加案内と福祉施設や絵画クラブ等、各種団体への参加を呼びかけ				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
	公共施設来館者、小学生等	月 5回 × 2か月 = 10回	各回 100名 × 10回 = 1000名	1名あたり	0円 × 1000名 = 円
	従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)	
	3名	10名	団体		

#### 4.申請事業の目標

事業全体の目標				
No.	目標	目標値	測定方法	
1	来場者の拡大(作品の展示先として公共機関の協力を得る/AR展示を併用)	1500人	来場カウント	
2	スタンプラリーで地域回遊促進(参加店舗を20とした場合、50名の顧客に案内を配布で十分達成できる)	1000人	スタンプ回収	
3	理解促進認知向上(障害者アーティストへの理解の深耕)	認知向上回答70%	アンケート	
4	ネットワーク強化(地域における商店街や企業、他団体との結びつきの強化)	15団体	連携数	
5	自立支援のための収益拡大(作品レンタルの導入先の獲得)	10件	契約数	
各取組の成果指標				
No.	取組名	目標	目標値	測定方法
取組①	障害者アート作品の広域展示	広域展示・認知拡大	1500人	来場者数
取組②	アートのトレイル(障害者アートめぐり:スタンプラリー)	回遊促進	1000人	スタンプ回収
取組③	子どもから高齢者まで楽しめるワークショップ	交流促進	150人	参加数
取組④	AR体験(サイバー空間と現実世界を融合させる技術)	参加促進	体験数	アクセス数
取組⑤	連携プログラム	連携拡大	15団体	連携数

## 5. 申請事業の実施に向けた課題とその解決のための取組・工夫等

課題①	具体的な課題	広域連携の調整
	課題解決のための取組・工夫	・自治体・商店街と事前連携 ・公共施設、神社仏閣(最明寺・等への事業パネル展示の依頼)
	目標	参加者1,500人達成
課題②	具体的な課題	集客確保
	課題解決のための取組・工夫	・学校動員を図るため、学びや体験など小学生から高齢者まで年代関係なく楽しめるワークショップを準備 ・スタンプラリーを実施し商店街への誘客を図ることで双方にメリットのある形態とする ・ARの活用による若年層の取り込みを図る
	目標	スタンプラリー参加者1,000人(参加店舗が20店の場合、各店50枚の配布で達成可能)
課題③	具体的な課題	継続性
	課題解決のための取組・工夫	助成金に頼らない運営を目指し収益モデル導入
	目標	継続開催体制の構築

## 6. 3年後(2029年度)、法人がどのように成長しているか<300字以内>

- ・3年後には本事業が地域の恒例イベントとして定着し、参加地域の拡大とともに県内広域へ展開している状態を目指す
- ・障害者アーティストの作品は企業や医療機関へのレンタル事業として継続的な収益源となり、安定した自立支援モデルが確立されている
- ・また、地域において障害者アートが身近な存在となり、共生社会の意識が自然に浸透している
- ・行政・企業・地域が連携した持続可能なモデルとして、他地域からの視察や展開依頼が生まれる状態を目指す

# 収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 あいあい  
 事業名 みんなで歩く河童アートトレイル(障害者アートでつなぐ広域・地域共生モデル事業)

## 1. 収入の部 645,819

項目		予算額(円)	積算内訳							
<b>a.助成金交付申請額</b>		500,000	※千円未満切り捨て/採択区分により補助率と交付額が変わる可能性があります							
<b>b.自己資金</b>		70,819	※自動計算							
<b>c.事業実施による収入等</b>		75,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)	ワークショップ収益(3講座共通)	(該当する事業)	75,000	500 円	×	50 人	×		3 回	
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
<b>d.その他</b>		0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×		×			

## 2. 支出の部 645,819

項目		予算額(円)	積算内訳							
<b>a.会場費</b>		30,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	ワークショップ会場費(3回)	(該当する事業) 事業3	30,000	1 日	×	10,000 円	×		3 日	
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
<b>b.通信運搬費</b>		42,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	支援者への事業案内送付(定形外郵便)300通	(該当する事業) 共通経費	42,000	1 枚	×	140 円	×		300 枚	
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
<b>c.旅費交通費</b>		0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×		×			

d.消耗品費				168,608	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	画材フェルトペン(108色セット)	(該当する事業)	事業1	124,608	1	セット	×	31,152	円	×	4	セット
(支出の内容)	角材・木材	(該当する事業)	事業1	24,000	1	本	×	800	円	×	30	本
(支出の内容)	木綿布	(該当する事業)	事業1	10,000	1	m	×	1,000	円	×	10	m
(支出の内容)	ケント紙(画用紙)	(該当する事業)	事業1	10,000	1	枚	×	100	円	×	100	枚
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		枚
e.備品費				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
f.委託費				264,111	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	AR製作費	(該当する事業)		82,500	1	個	×	16,500	円	×	5	個
(支出の内容)	パネル製作(河童伝説紹介/SDGs連携/あいアイ活動案内)	(該当する事業)	共通経費	105,600	1	枚	×	8,800	円	×	12	枚
(支出の内容)	配布チラシ	(該当する事業)		10,011	1	枚	×	3	円	×	3,000	枚
(支出の内容)	デザイン料(パネル2種、事業チラシ、スタンプラリー)	(該当する事業)	共通経費	66,000	1	デザイン	×	16,500	円	×	4	デザイン
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
g.謝金				126,100	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	障害者アーティストへの謝金(埼玉県最低時給×作業時間10時間:2時間×5日にて設定)	(該当する事業)	事業1	114,100	1,141	時給	×	10	時間	×	10	人
(支出の内容)	ワークショップ講師への謝金	(該当する事業)	事業3	12,000	12,000	円	×	1	日	×	1	人
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
h.人件費				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
i.その他				15,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	スタンプラリー用紙	(該当する事業)	事業2	15,000	1	セット1000R	×	5,000	円	×	3	セット
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		